

1987年

内閣へ移行。

五月、当協会が「中日文化賞」を受賞、名古屋での授賞式に高山辰雄代表理事が出席。七三年「朝日賞」、八五年「国際交流奨励賞」に続くものである。中曽根内閣から竹下中国では年明け早々に、



中日文化交流協会は、中日新聞社の第40回「中日文化賞」を受賞した。加藤巳一郎中日新聞社社長(左)から賞状を受ける高山辰雄代表理事 —1987年5月14日 名古屋・中日パレス



『孔子』執筆の取材で何度も訪中。春秋時代楚国の故地・負函に立つ井上靖会長

—1987年11月3日 河南省信陽

◎4月 王蒙文化相一行(当協会と外務省の共同招請) 来

◎3月 「日中婦人書道交流展」(北京の中国美術館で開幕、主催が当協会、日本書道院、中国書法家協会、日本側は田中竹園氏ら日本書道院所属の女流書道家の作品及び特別出品の井上ふみ、佐多稲子、杉村春子の諸氏の作品を含め、日中双方三百点余を展覧。全日本書道連盟代表団(浅見寛洞団長、宇留野清華、梅原清山、金子聰松、長揚石、中野暁の諸氏)訪中。

民主化要求の運動が全国の大学に拡大、胡耀邦総書記が責任を取って辞任、趙紫陽総理が総書記代行、総理代行に李鵬副総理が就任。
◎1月 生誕百五十年・中国展帰国記念「富岡鉄斎展」(当協会、朝日新聞社、清荒神清澄寺主催)を日本橋三越で開催、開幕式に中国美術家協会代表団(葛維墨団長) 来日。



團伊玖磨団長(右二)ら中日文化交流協会代表団が訪中。敦煌・莫高窟で、篠田正浩(右一)、三浦哲郎(右三)、渡辺美佐子(左二)、司修(左一)の諸氏

—1987年6月23日

日。中国作家代表団(陳残雲団長、陳瑛、矯健、陳明仙、胡世光の諸氏) 来日。中国曲芸家代表団(駱玉笙団長、羅揚、許光遠、秦建國、沈世華、王勤、顧佩芳の諸氏) 来日。日本演劇家代表団(成井市郎団長、植木等、花柳芳次郎、本山可久子、藤田洋、清水邦夫、原信之の諸氏) 訪中。日本産業界代表団、圓城寺次郎日本経済新聞社前社長、当協会顧問を団長に、小坂雄太郎(信越化学工業)、中内功(ダイエー)、後藤康男(安田火災海上保険)、長岡實(日本たばこ産業、山口光秀(前大蔵事務次官)、松浦研治(大和證券)、長谷川章(全日本空輸)、依田直(東京電力)、小長啓一(日本興業銀行)、飯盛正大(第一勧業銀行)、木村美智子の諸氏訪中。

◎5月 「山東電展」調印団(上松陽助岐阜県知事、土屋齊大垣共立銀行会長、古田好日中友好岐阜県議會議員連盟会

◎6月 日中文化交流協会代表団(團伊玖磨団長、篠田正浩、三浦哲郎、渡辺美佐子、佐藤純子、司修、高橋律子の諸氏) 訪中。歌舞伎俳優の片岡仁左衛門(当時は片岡孝夫)、坂東玉三郎両氏ら、井上靖原作「玄宗と楊貴妃」公演の取材で訪中。
◎7月 日本「科学技術」研究・管理者代表団(水科篤郎団長、不破敬一郎副団長、永戸正一、厚美忠光、上田耕造、平山尚、平野康正、小暮貴代の諸氏) 訪中。日本「民法・環境法」学者訪中団(加藤一郎団長、石外克喜、鈴木辰紀、森島昭夫、紋谷暢男、池上徹、安次富哲雄、野村好弘、伊藤高義、植木碓雄、浅野直人、大嶋芳樹、新美育

文、長谷川健、柳憲一郎の諸氏) 訪中。
舞踊家の篠節子氏一行訪中。

◎8月 松山市中学生訪中団(森下重
俊団長) 訪中。

◎9月 井上靖原作「玄宗と楊貴妃」
東京・新橋演舞場で公演、当協会が後

援。中国音楽家代表团(李凌団長、晨
耕副団長、李群、宋大能、陳佩芳の諸
氏) 来日。中国共産党史研究会訪日団
(逢先知団長・中共党史研究会副会長、
王淇、王裕堯、傅祿永の諸氏) 来日。日
本「中国曲芸鑑賞」訪中団(岡本文弥

団長、戸板康二顧問、川上桂司、吉川
英史、吉川節子、吉川良和、永井啓夫、
永井富子、平井澄子、林えり子、中野
暁らの諸氏) 訪中。作家の水上勉代表
理事、北京での日中国交正常化十五周
年記念パーティー出席のため訪中。作
曲家の團伊玖磨代表
理事、北京での第一
回中国芸術祭出席の
ため訪中。

田辺昭三両氏が講演。中国科学院材
料科学代表团(戴立信団長) 来日。「日
中婦人書道交流展」を三月の北京展に
続き東京で開催、開幕式に中国代表团
(沈鵬顧問、蕭瓊団長、林岫らの諸氏)
が出席。日中文化交流協会代表团(高
山辰雄団長、白土吾夫副団長、矢野範
二、佐藤純子、野田暉行、成田環の諸
氏) 訪中。



王蒙文化相が外務省と当協会の招き
で来日 当協会は、東京と京都で盛
大な歓迎レセプションを催した。著
名な作家でもある王蒙文化相(右)と
歓談する司馬遼太郎代表理事(中)、
桑原武夫京都大学名誉教授(左)
——1987年4月24日 京都



中国曲芸代表团が来日 駱玉笙団長
(左三)から記念の書を贈られる岡本
文弥氏(左一)、戸板康二氏(左二)。
中国の曲芸(語り物芸能)の代表团の
来日はこのときが初めて
——1987年4月27日 早稲田大学・大隈会館

◎10月 中国人民対
外友好協会代表团(黃
世明団長、孟偉哉、
林爾蔚、韓美林、吳
瑞鈞、賈蕙萱、張利
利の諸氏) 来日。現
代歌人協会代表团(近
藤芳美団長) 訪中。
日本「法医学・賠償
医学」学者訪中団(渡
辺富雄団長) 訪中。
井上靖会長が白土吾
夫、佐藤純子、横川
健の諸氏及び新潮社
の岩波剛氏を伴い訪
中。

◎12月 中島京子中島健蔵元会長夫人
が当協会の佐藤純子、有馬洋子両氏を
伴い訪中。
~~~~~  
すでに四十年の歴史をもつ権  
威ある「中日文化賞」を受賞し  
た。中日新聞社の加藤巳一郎社  
長(後に会長)は中国との文化  
交流に熱意を持ち、それが社風にもな  
っていたが、協会も名古屋が舞台だっ  
たピンポン外交をはじめこの地域との  
縁は深い。名誉なことである。  
当時、歌舞伎の若手俳優として人気  
抜群の「孝・玉コンビ」、片岡孝夫氏  
(現・仁左衛門)が玄宗、坂東玉三郎氏  
が楊貴妃を演じる「玄宗と楊貴妃」の  
原作は井上靖会長の「楊貴妃伝」。協会  
は「孝・玉コンビ」の現地取材に協力  
した。二人が北京京劇院に梅蘭芳の芸  
を継ぐ梅葆玥(玄宗)、梅葆玖(楊貴妃)  
両氏を訪ねた際、この二組の玄宗と楊  
貴妃の間では、歩き方から始まり、衣  
裳の裾さばき、目の動き等々、あらゆる  
演技の端々まで、華やかな舞台から  
は想像し難い、真剣な交流がなされた  
のだった。  
(九十九)



華清池で玄宗皇帝と楊貴妃の栄華の跡をしのぶ片  
岡孝夫氏(右)と坂東玉三郎氏。井上靖原作の演劇  
作品「玄宗と楊貴妃」上演取材のため訪中した  
——一九八七年七月三日 西安



品川正治団長(左)ら日本経済界代表  
団が訪中 李寿葆上海市対外友協会  
会長(右)は、歓迎宴会の席上、誕生日  
を迎えた立石信雄氏(中)にお祝いの  
ケーキを贈った ——1987年6月2日 上海

◎11月 第九回古代  
史講演会「古代日中  
交流史」(当協会と全  
日空主催)を全日空  
中国定期路線開設を  
記念して北京で開催、  
王仲殊中国社会科学  
院考古研究所所長、  
日本側の西嶋定生、